

脱原発全国署名にご協力を！ 脱原発！の声をあげよう

福島第1原発の事故から4ヵ月近くがたちました。しかし事態収束の目途は全くたっていません。そして放射能汚染は今も拡大を続けています。

原発事故と震災被害が二重に襲い掛かってくる事態、これまでに心ある専門家がくりかえし警告してきた「原発震災」が現実のものとなりました。二度とこのような事故をくり返さないために、一刻も早く、原発の運転を停止し、エネルギーを原子力に依存する社会の転換を強く推進しましょう。

オーストリアでは、すでに1978年に、完成したばかりの原発の稼働を国民投票で拒否し、1999年には憲法に原発建設の禁止を明記しました。「3・11」以降、イタリアでは、国民投票で9割の反対で原発の運転再開を拒否しました。ドイツでは2022年までに段階的に原発を廃止する「脱原発法」が成立しました。

日本でも、「さようなら原発1000万人アクション」として全国署名が取り組まれています。“脱原発！”の大きな声を上げましょう！

ご協力をよろしくお願いいたします。

(2011年7月10日)

原発やめよう



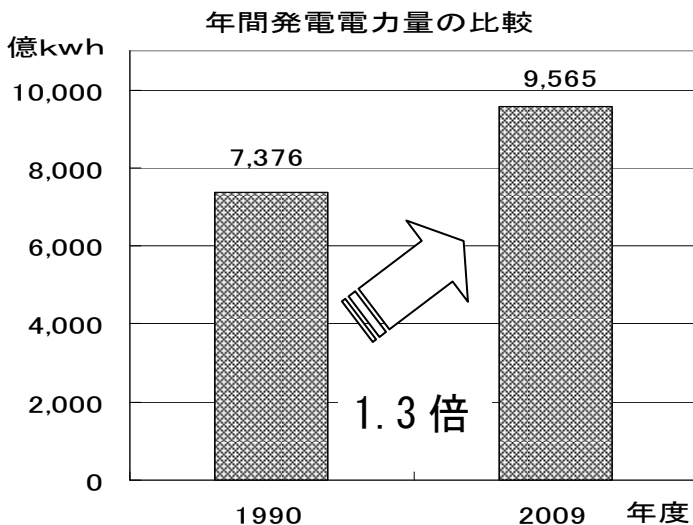
ノーモア フクシマ

アジェンダ・プロジェクト京都

〒601-8022
京都市南区東九条北松ノ木町 37-7
Tel&Fax 075-822-5035
URL <http://www3.to/agenda/>

◆エネルギー政策の転換に向けて バブル期より今の方が世の中「明るい」？

- ・ 2009 年の年間発電電力量……………バブル期の 1.3 倍
- ・ 一世帯あたりの電力消費量…………… // 1.12 倍



日本が「経済大国」「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と呼ばれ、大量消費を謳歌していた「バブル」の時代。あのときよりも、実は今の方が 3 割もたくさん電気を使っているのです。当時だってももちろん夏にはエアコンを使っています。必要な電気は使ったとしても、省エネできる“ムダ”な電気がきつと多いはずでは？

<アジェンダ・プロジェクト京都 原発連続学習会 予定>

- ・ 8月14日(日) 原発と利権
- ・ 9月25日(日) 各国の状況(ドイツを中心に)
- ・ 10月9日(日) 放射性廃棄物
- ・ 11月13日(日) 日本の今後のエネルギー政策



※場所はひとまち交流館・京都 2Fのロビーかミーティングルームです。時間は午前10時からです。